

2018-2019 年度 国際ロータリーテーマ 「 Be The Inspiration 」

第2580地区

東京セントラルパークロータリークラブ

The Rotary Club of Tokyo Central Park

Weekly Report

2018-2019年度 スローガン

「広げよう奉仕の輪、親睦・友情の輪」

第11回（通算1684回） 2018年10月16日



本日の例会



- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 〈1〉 開会点鐘・会長挨拶 | 〈7〉 9月の皆出席表彰 1名 |
| 〈2〉 ロータリーソング「それでこそロータリー」 | 榎本会員 4年 |
| 〈3〉 季節の歌「少年時代」 | 〈8〉 メークアップ報告 |
| 〈4〉 ビジター紹介 | 〈9〉 委員会報告 |
| 〈5〉 幹事報告 | 〈10〉 ニコニコBOX 報告 |
| 〈6〉 出席状況報告 | 〈11〉 閉会点鐘 |



本日の卓話



本日の卓話 「イニシエーション・スピーチ」

中嶋冬彦会員・宮坂唯之会員

次週の例会 〈10/23〉 「日本での生活で感じたこと」

2018 学年ロータリー米山記念奨学生 張 軼威(ジャン イーウェー)さん

〈10/30〉 例会休会日

◆◆◆ 先週の例会記録 ◆◆◆

2018年10月2日 第10回(通算1683回)
開会点鐘 松林会長 B1「白鳳の間」
*ビジター紹介 1名 廣本慶一様(地区社会奉仕委員会副委員長/東京四谷RC)
*ゲスト紹介 1名 ブルカエワ.マルジャンさん
出席 25名 欠席 9名 (免除者 1名)
出席率 75.75% 補正出席率(9/14) 75.75%

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

- ① 10月は、「米山月間」・「経済と地域社会の発展月間」で、24日世界ポリオデーです。
- ② 10月2日、本日11時より定例理事会を開催いたしました。詳しい内容は、週報の議事録にて、報告いたします。また、本日例会終了後には、クラブフォーラム開催致します。2グループに分けて議論をしていただきます。議題は、「職業奉仕を考える」です。又、クラブフォーラム終了後には、東京新都心ロータリークラブさんの30周年記念式典に、松林会長と幹事で参加を致します。
- ③ 来週の例会は、お休みなのですが、11日に第2回地区研修会が開催いたします。お間違えの無いように。
- ④ 今月、10月のロータリーレートは1\$ = 112円です。

第4回理事・役員会議事録

10月2日午前11時より B1「弥生に間」に於いて第4回理事・役員会を開催しました。

出席者:松林、萱森、中山、小野、小林、富永、牧野、橋本、花形、川松、白石、榛村、(安田)

1. 9月度会計報告に関して
小野会計から報告があり承認されました。
2. 10月度日程と卓話スケジュールに関して
16日「イニシエーション・スピーチ」2名に変更します。12月の家族親睦忘年会でのアトラクションで渡辺バンドとプレゼントの話でほぼ決まり詳細は、後日。
3. 11月8日会長ノミニー推薦指名委員会における一般委員3名の選出
川松会員・安田会員・齋藤会員で決定。
4. その他
① 今後の社会奉仕活動について

理事会開始前に安田会員から子ども食堂の説明があり、ロータリー財団地区補助金プロジェクト申請書提出した旨、承認頂いた。

- ② 35周年記念誌予算について
基金委員会にて決める。

基金委員会議事録

10月2日理事会終了後、開催いたしました。
委員長:白石直前会長、招集者:松林会長
委員(歴代幹事経験者)小林会員・牧野会員・富永会員・萱森会員・橋本会員
現会計:小野会員、現幹事:榛村(以上9名)
議題:「35周年記念誌の予算に関して」
35周年時クラブに在籍をしていた会員より、一人15,000円を集め、不足分の80万円はクラブ会計から資金を捻出し、基金の変更は12月4日のクラブ年次総会にて決議する。
以上の通り、ご報告いたします。

幹事 榛村 浩一

◆◆◆ ニコニコBOX報告 ◆◆◆

橋本会員:富士桜でのゴルフコンペ参加の皆様、お疲れ様でした。難コース満喫しました。小林さんありがとうございました。

今週の合計 1件	2,000円
累計	1,392,179円

◆◆◆ 先週の卓話 ◆◆◆



「カザフスタンという国」

米山奨学生 ブルカエワ.マルジャンさん
今日はカザフスタンについて卓話をさせていただきます。まず、自己紹介からはじめます。
これは私の家族と親戚の写真です。私が生まれた所はアクタウという所です。家から歩いて15分でカスピ海に行けます。次はカザフスタンについて

説明します。まず国の面積が272万4900平方キロメートルあり、世界第9位です。そしてカザフスタンは中央アジアに位置しています。

7%はヨーロッパになっています。面積が大きいのに人口は1730万人(61位)で少ないです。

そしてカザフスタンは他民族国であり、約130以上の民族が住んでいます。60%カザフスタン人、30%ロシア人、10%などです。首都はアスタナという都市です。1997年に建てられ、都市計画案は日本人建築家の黒川紀章氏です。

次はカザフスタンの気候について話をしたいと思います。カザフスタンには4つの季節があって、北はとても寒くて夏が涼しいですが、南は夏が暑くて冬が暖かいです。最高気温は52度で、最低気温は-57度です。ちなみにアクタウは南にあるので、夏が40～50度で冬は0～-10度くらいです。

カザフスタンにはソ連時代に建てられたバイコヌール宇宙基地があります。

そこは1961年にユーリ・ガガーリンが乗った宇宙船が打ち上げられた場所です。

次はカザフスタンの自然について話したいと思います。カザフスタンは広い国なので自然も様々です。低地、高原、砂漠、山岳地帯など様々な地勢があります。例えばアルマティ市の近くにあるアルマティ山脈はカザフスタンで一番高い山脈です。一番高いピークはハン・テングリであり7000メートルです。カザフスタンの西南には砂漠と草原が多くて、チャルインキャニオンという場所があります。昔は全部海の底だったので、塩の塊とかさめの歯などを見つけることができます。次はカスピ海について説明します。カスピ海は世界で一番広い湖で、水がしょっぱいので海と呼ばれています。

カスピ海ではキャピアも取れるので、昔は気軽に食べることができましたが、今は高すぎてなかなか買えないです。

次はカザフスタンの料理について話します。昔カザフスタン人は遊牧民族であったので、主にお肉を食べています。お肉以外にはお米、麺、ジャガイモ、少しの野菜です。一番有名な料理はベスパルマックという料理です。麺、お肉と野菜の料理です。お肉としては牛肉、羊肉、馬肉を食べます。その他にはラクダと馬の乳を飲みます。おいしいですがすっぱい味です。そして昔の人は

運びやすいテントのような家に住んでいました。ユルタというものです。今はお祭り用に使うことがほとんどです。

◆◆◆ 先週の例会より ◆◆◆



10月のお誕生日、結婚記念日の皆さん

クラブフォーラム議事録

テーマ：「職業奉仕を考える」

10月2日(火)13時30分～ B1「弥生の間」
白石直前会長より“5 大奉仕の中でも、最大の難問である職業奉仕をテーマに選択したので、皆さんの活発な議論をお願いしたい”とのテーマ発表・主旨説明後、グループに分かれて討議。

総合司会/榛村幹事

【A グループ】

リーダー：齋藤会員 リポーター：宮坂会員(代理)
小林会員、牧野会員、古内会員、橋本会員、榛村会員、萱森会員、花形会員、深谷会員、中山会員、河東会員、中嶋会員 (以上、13名)
職業奉仕 12章を基に職業奉仕について討論しました。

○1～12章全てにおいて常に意識を持ち、見本、手本となるように取り組むことが重要

○自分の仕事をしっかりすることを最優先とし、ロータリーを通じ多くの人と知り合うことによって互いに協力し合う事が出来れば更なる職業奉仕に繋がる

○常に自分の職業に誇りを持って全うし、社会、地域社会に貢献する

○将来を見据え、社員教育を通じながら継続的に社会に貢献できる体制作り

【B グループ】

リーダー：安田会員 リポーター：川松会員
前田会員、古川会員、白石会員、松林会員、杉本会員、小野会員、野口会員、(以上、9名)

○何か特別なことを行うのではなく、自らの事業、自らの経営する会社をしっかりと運営することこそが職業奉仕と言えるもので、何も追加するものはないのではないか？

○賛同する。社会的に必要とされる事業、従業員から必要とされる会社であるからこそ存続しているはずであり、会社の運営を健全に継続していくことが既に職業奉仕であろう。以前に伊丹ロータリーの過去の会長が言っていたことが頭に残っている。「仕事をしながら社会に奉仕するココロを忘れるな。そうであればロータリーに参加していること自体が職業奉仕となる。」

○自分の会社をよりよい会社にする、その結果として社員が幸せになり、最終的に社会のお役に立つことが職業奉仕である。

○今、白石会員が仰ったように、職業奉仕 12 章の第 6 章がもっとも大切な精神である。

○会員各位がしっかりと稼ぎを上げ、それを社会に分配することが大切で、職業奉仕 12 章の第 12 章がもっとも大切と考えている。

○皆さんが仰ったことに加え、自分として大切にしているのは、今、自分が行っている事業を、どう次世代に引き継ぐか、自分で終わりにするのではなく次の世代にバトンを渡していくことが大切と考えている。

○仕事をもっとも大事な勤めとして励むことが職業奉仕につながると考えている。ロータリー加入前は会社経営の理念を持てなかったが、加入後はそれをしっかりと持てるようになった。つまりは職業奉仕 12 章の第 12 章を実践して、ステージの品質向上がお客様の満足度のアップに繋がり、仕事の評価が高まることでまた仕事もたらされる、職業奉仕することでそれが自分にも跳ね返ってくるという好循環を生むことを体感できた。

○ロータリーソングにある「御国に捧げる・・・」のフレーズは当時の社会情勢を反映したもので、それを今に置き換えれば、自分の仕事を懸命に行うことになると思う。

○ロータリー加入前は「奉仕」を謳うロータリーが偽善者集団だと思えることもあったが、実際に加入したのちは、ピュアな奉仕の集団であることが分かった。会員各位が自分の仕事をしっかりと行うことがクラブの礎と思う。

○結局は、職業奉仕 12 章の第 5 章(社員教育)、

第 6 章(社員の福祉)、第 8 章(職業倫理)が一番大事だと考えている。

○小生のいる士業の世界は、過去色々問題があったが、今はしっかりと社会のルールを守れるようになってきている。業界全体としては次にながることができるかという段階にきていると思う。

○問題提起として、例えば漁業なら獲れるなら獲る、という考え方には問題があるのではないか。資源保持の観点からは問題があるはず。

○事業ごとに色々事情があるはず。

○自分さえ、今さえ良ければいいというのは問題。

○ロータリーはその設立の精神からすれば、自らの職業を通じての相互扶助を図るのが目的の一つであったはず。その後、奉仕という概念が入ってきた。

○その意味では職業奉仕はロータリーの中でも一番後発の概念。

○ライオンズクラブでは実際に体を動かす奉仕が中心。対してロータリーは補助金交付が中心。その補助金交付が職業奉仕の中心的な活動となる。

○特に 2580 地区は職業奉仕に積極的である。



9月28日(金)富士桜CCで開催された「第39回フレンドリー・グリーンクラブゴルフコンペ」参加の皆さん 優勝は牧野会員でした。

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30

例会場 ハイアットリージェンシー東京

会長 松林 茂 副会長 萱森 由美

幹事 榛村 浩一 会報員 塚本 将之

事務局 〒166-0004

東京都杉並区阿佐ヶ谷南 1-34-6 新東京会館

TEL(03)3312-4959 FAX(03)3312-4958

E-mail: info@tokyocentralpark-rc.com

<http://www.tokyocentralpark-rc.com/>

季節の歌

「少年時代」

作詞：井上陽水 作曲：井上陽水・平井夏美

夏が過ぎ 風あざみ
誰のあこがれにさまよう
青空に残された 私の心は夏模様
夢が覚め 夜の中
永い冬が窓を閉じて
呼びかけたままで 夢はつまり
思い出のあとさき
夏まつり 宵かがり
胸のたかなりにあわせて
八月は夢花火 私の心は夏模様

